

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		平成 30 年第 5 回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		平成 30 年 4 月 18 日（水）		場 所	教育長室		
会 議 時 間		（開会）午後 1 時 00 分 ～（閉会）午後 2 時 36 分					
休 憩 時 間		①（休憩）午前・午後 時 分 ～（再開）午前・午後 時 分 ②（休憩）午前・午後 時 分 ～（再開）午前・午後 時 分					
委員の出席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	蘆邊 千鶴子	出席	委員	吉原 慎吾	欠席
		委員	中惣 恭子	出席	出席委員 3 名，欠席委員 1 名		
出席説明者	教育次長 道端 祐一郎		出席	シニアマネージャー 山本 裕		出席	
	未来の教育課長兼教育研究センター所長 中谷 光恵		出席	教育庶務課長 三ツ橋 薫		出席	
	学校教育課長 吉田 明生		出席	学校教育課担当課長 村田 由美子		出席	
	市立高校事務長 山口 和博		出席	青少年育成課長 松野 真弓		出席	
	ひととものづくり科学館副館長 浅野 幸恵		出席	図書館副館長 山崎 みどり		出席	
	観光文化課主幹 川畑 謙二		出席	教育庶務課参事 中屋 清志		参事	
書 記							
傍 聴 者		0 名					
会 議 に 付 し た 議 題	【議案】						
	議案第 9 号 小松市文化財調査委員会委員の委嘱について（観光文化課）						
	議案第 10 号 小松市立中学校教科書用図書（道徳），小松市小学校教科書用図書採択委員会設置要綱について（学校教育課）						
	【報告事項】						
	・平成 30 年度未来の教育課・教育研究センター事業計画（未来の教育課・教育研究センター）						
	・図書館行事について（図書館）						
	・小松市史について（図書館）						
	・寄附受納について（教育庶務課）						
	・平成 30 年度小中学校学級編成について（学校教育課）						
	・市立高校 3 ヶ年合格状況について（市立高校）						
	・平成 30 年度青少年育成課事業計画について（青少年育成課）						
	・サイエンスヒルズこまつ 3 月のイベント 4 周年企画について（ひととものづくり科学館）						
	・平成 30 年度サイエンスヒルズこまつ ひととものづくり科学館 事業計画（ひととものづくり科学館）						

教 育 委 員 会 報 告

平成 30 年 4 月 18 日

【議案】	
議案第 9 号 小松市文化財調査委員会委員の委嘱について	
所 管 部 課 名	観光文化課
内 容	小松市文化財保護条例に基づき文化財の保存，調査に関わる重要事項を審議する文化財調査委員会委員の欠員（2 名）を追加で委嘱する（追加委員は資料参照）。 任期は 2018 年 5 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで。
教育委員等の意見	特になし
	議案第 9 号 承認
議案第 10 号 小松市立中学校教科書用図書（道徳），小松市立小学校用図書採択委員会設置要綱について	
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（以下「法律」）に基づき小松市教育委員会が 2019 年度から 2020 年度までに使用する中学校教科用図書（道徳）の選定を審議する委員会を設置する要綱を制定する。 法律に基づき小松市教育委員会が 2019 年度に使用する小学校用図書の選定を審議する委員会を設置する要綱を制定する。
教育委員等の意見	特になし
	議案第 10 号 承認
件 名	平成 30 年度未来の教育課・教育研究センター事業計画
所 管 部 課 名	未来の教育課，教育研究センター
内 容	外部講師による講和，演習，模擬授業及び自らの教材研究、授業研究等を通じた授業の質の向上，人材育成を目的に立案。 平成 30 年度の主な事業としては以下のとおり。 ・一般教養 … 教育講演会、地域理解講座（一般対象） ・プログラミング講座 … 2020 年度に導入されるプログラミング教育を見据えた講座（教諭対象） ・研究・研修 … 30 年度は主体的、対話的，深い学びに繋がるような内容に変更したリーダー育成講座

	・中学生サミットの開催 ・訪問相談員の派遣 … 完全不登校の児童・生徒へのひきこもり対策とした相談員の派遣（新規）
教育委員等の意見	【中惣委員】 ① 不登校児童・生徒の保護者の情報交換会への出席率は 【北村委員】 ② 管理職の育成はどのように考えているか。事業数が増えて支障がないのか。 【蘆邊委員】 ③ ひきこもりの現状は。訪問相談員の訪問頻度はどの程度考えているか。
回 答	① 出席率は高く、夜間開催だが長時間話されている。 ② 教頭研修を強化したい。学校ごとの取り組みを持ち寄り良い事例については現場に赴くなどを考えている。教務主任、研究主任、生徒指導への研修内容も工夫していきたい。明確な目的化のもと事業を考えているおりその過程で統合等を図っていければと考えている。 ③ 新規事業のため状況を見ながら訪問回数等を決めていきたい。人数については今後公表される予定。
件 名	図書館行事について
所 管 部 課 名	図書館
内 容	① 年間行事 学校、他施設との連携と読書推進に応じた行事を計画。重点的の取り組みたい項目は次のとおり。 ・ビブリオバトル 高校生大会 … 市内高校が参加出来るよう声掛け。 中学生大会 … 各中学校1校1名の代表が出るよう、早くからPR活動を実施。 ・朗読大会 講座回数を1回増やし7回。10月に開始し、3月に発表会を行う。講師は、石川テレビ元アナウンサーの大橋のり子さんをお呼びし、プロとしての朗読の仕方を学ぶ取る。 ② テーマ展示 ・いわさきちひろ生誕100年 いわさきちひろ生誕100年にちなみ、ちひろが描いたイラスト本を一堂に展示した。貸出も人気。 ・4/10 発表！本屋大賞2018「本屋大賞特集」 2018年本屋大賞が4月10日に発表。今回のノミネート作

	品やこれまでの受賞作を並べた。 好評のため全て貸し出し中。現在、予約待ちの状況。 ③ 藤見の会 5月には芦城公園で緑花公園センターが主催する「藤見の会」が行われる予定。 芦城公園周辺施設がそれぞれオリジナルイベントを行うが、図書館は、「ステンシルバックづくり」を行う予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	小松市史について
所 管 部 課 名	図書館
内 容	昨年度3月末に、『新修 小松市史 資料編 15 建築編』が発刊された。4月11日より販売が開始されている。 市内に遺された伝統的な特徴ある建造物を調査し、その全貌をまとめたもの。 建築遺産の本格的な調査は初めてであったが、所有者の了解を得て200軒程の建築遺産を登載している。
教育委員等の意見	特になし
件 名	寄附受納について
所 管 部 課 名	教育庶務課
内 容	平成30年3月22日に木田弘之氏（市内八幡在住）よりオブジェを市内小中学校33校に寄附（詳細は資料参照）。 作陶生活50周年を記念したもの、また、小松の石文化を構成する花坂陶石が九谷焼の原材料であることを小中学生に学んでもらうことを目的に寄附されたもの。 4月11日に市長、教育委員会連名で感謝状を贈呈。
教育委員等の意見	特になし
件 名	小松市立松東みどり学園キャンパス整備について
所 管 部 課 名	教育庶務課
内 容	2021年4月に設置する義務教育学校の校舎整備を2018年度より行う予定。 校舎は、既存中学校舎の改修及び増築を基本に行う予定。①小中連携を緊密にする配置、②特色ある教育活動、③温かみのあるやさしい空間、④地域活動の拠点、をコンセプトにした施設整備を行うもの。

	整備日程は次のとおり。 2018 年度 地質調査, 基本設計・実施設計 2019～2020 年度 既存校舎改修, 増築
教育委員等の意見	【蘆邊委員】 統合前は3校それぞれに放課後児童クラブがあったが, 統合後の放課後児童クラブはどのなっているか。 【北村委員】 教育委員会主導で方向性を示すことは大切。みどり学園小学部, 松東中学校の校長にも理解をしてもらいたい。そのうえで互いに協力していってほしい。
回 答	新しい放課後児童クラブの整備 (2021 年度) までは統合前の各校下に設置, 運営で地元も了解している。
件 名	平成 30 年度小中学校学級編成について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	【小学校の学級編成】 ・ 1, 2 年生 … 国の基準に基づく 35 人学級で編成 ・ 3, 4 年生 … 県の基準に基づく 35 人学級で編成 ・ 5, 6 年生 … 国の基準に基づく 40 人学級で編成 ・ 5, 6 年生で 36 人/級以上となる学校にはきめ細かな指導を目的に市単独で講師を配置 (9 校) ・ 複式解消を目的として市単独で講師を配置 (1 校) ・ 児童数 5,918 人(▲18 人) 学級数 258 学級(▲10 学級) 【中学校の学級編成】 ・ 1 年生 … 県の基準に基づく 35 人学級 ・ 2, 3 年生 … 国の基準に基づく 40 人学級 ・ 生徒数 3,035 人(▲76 人) 学級数 112 学級(▲2 学級)
教育委員等の意見	特になし
件 名	市立高校 3 ヶ年合格状況について
所 管 部 課 名	市立高校
内 容	直近 3 ヶ年の合格状況については次のとおり ・ 平成 29 年度国公立大学現役合格者は過去最多。 ・ 公立小松大学は 8 人(推薦 6 人, 一般 2 人)が合格。入学者は 7 名。1 名は他大学へ進学。 ・ 小松短期大学及びこまつ看護専門学校がなくなったため合格者が前年度に比較し減少した。 ・ 4 年生大学の進学は 111 人(+10 人)。短期大学は 19 人(▲10 人)。

教育委員等の意見	【北村委員】 ① こまつ看護専門学校がなくなったが、看護系を志望していた学生の進路はどうなっているか。 【蘆邊委員】 ② 卒業生の進路をお知らせするような取り組みがあってもよいのではないか。
回 答	① 准看、歯科衛生士に行く学生がいた。医療系の専門学校を目指す生徒が多かった。確認は取れていないが、看護系ができた金城大学へ進学している可能性がある。 ② 就職した卒業生の話を聞く会も行っている。
件 名	平成 30 年度青少年育成課事業計画について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	平成 30 年度事業については以下のとおり ・国際教育 認定こども園園児から中高生までを対象にした国際交流、国際理解講座の実施。 ・放課後児童クラブ運営 実地調査を通じた運営力、指導力向上を検討 ・青少年教育振興 2021 年度全国社会教育大会開催を目指した活動を実施。
教育委員等の意見	【中惣委員】 ① 海外との交流の周知方法は。ホームページのみなのか。特定の方だけでなく広く保護者の方に関心も持ってもらようにして欲しい。 【蘆邊委員】 ② ゲイツヘッド、アンガルスクの募集状況は。また、選考する場合の条件は。
回 答	① 活動の様子をホームページに掲載できるよう検討する。 ② 今年度は受け入れの年度。派遣時の倍率は3倍。アンガルスクについては4月20日が締め切りで応募は多いと思うが選考により決定することとなる。 選考については、応募者からの作文を基にした面接によって決定。
件 名	サイエンスヒルズこまつ3月イベント 4周年企画 について
所 管 部 課 名	ひととものづくり科学館
内 容	4年を迎え、3月後半、記念イベントとしていくつかの企画を実施。「宇宙エレベーター」の講演（日本大学理工学部青木教

	授)では、子どもたちの的を射た質問が相次ぎ、講師からもほめられた。
教育委員等の意見	特になし
件 名	平成 30 年度サイエンスヒルズこまつ ひととのづくり科学館事業計画
所 管 部 課 名	ひととのづくり科学館
内 容	楽しむサイエンスを中心に年間を通し年代を超えて楽しめる企画に取り組む。 学ぶサイエンスでは、未来課とともにプログラミング教室の充実を図っていく。 挑むサイエンスでは、より深く学びたい子どもたちが全国につながるような環境を整備していく。
教育委員等の意見	【蘆邊委員】 小学校高学年，中学生の来館が少ないと聞く。小さい頃楽しんだ子どもたちを逃がさない企画（高学年向け）を是非考えていってほしい。
回 答	高学年になると、子どもが忙しくなり，科学館へ足が向きにくいのが現実である。開館当初からプログラミング教室を行っており，昨年から低学年クラスと高学年クラスに分けてシリーズ化している。高学年も参加しているが，定員が少ないので絶対数は多くはない。他にシリーズで実施している教室にも，少ないが高学年の子どもはいる。大人も一緒に楽しんでいただいております，大人のためのサロンや教室の開催にもつながった。
【その他】	
件 名	次回教育委員会議日程について
内 容	日時：5月11日（金）午後1時30分 場所：小松市役所 6階 教育長室
【教育委員からの意見・提言】	
北村委員	特になし
蘆邊委員	教員の複数校を掛け持ちで授業を行っている状況を聞いたことがある。解消は難しいかもしれないが教員が負担とならないような配慮をしてほしい。
吉原委員	特になし
中惣委員	長期休み（夏休み、冬休み、春休み）中の宿題の在り方について検討してほしい。